

幼保連携型認定こども園 中海こども園

こども園における自己評価結果報告

こども園における自己評価の結果がまとまりましたので、ご報告いたします。
自己評価の結果を踏まえ、今後の教育・保育の質の向上並びにこども園運営の
向上に努めて参ります。

A:たいへんよい
B:よい
C:一部検討を要する
D:改善を要する

項目	内容	評価				取り組み状況及び課題
		A	B	C	D	
教育・保育理念	(1)理念や基本方針が職員に周知されているか			○		職員全体への周知はまだままで、特に今年度は、共同保育であったり新しいメンバーでの構成だったためより話し合いの場を設ける必要があったが十分ではなかった。次年度は、理念・基本方針に基づいた教育保育を推し進めていくためにも職員間の共通理解ができるように話し合いの工夫をしていく。保護者に対しては、園だより、HP、掲示物などで知らせてはいるが十分に周知されているとは言えない。保護者アンケートを2回とった結果、教育・保育活動におおむね満足していただいているとの回答が多かったが、私たちの教育・保育方針が保護者により周知されるように具体的な日々の教育保育が伝わるよう工夫していく。
	(2)理念や基本方針が利用者に周知されているか			○		
	(3)理念や基本方針に基づいた教育保育が行なわれているか			○		
	(4)一人一人の子どもの人格を尊重した教育保育について共通の理解をもっているか			○		
教育保育の計画	(1)社会状況や子どもの実態、地域性を考慮し、必要に応じて教育保育課程の見直しを行っているか		○			今年度は今までの教育保育を考慮し、職員と話し合いながら教育・保育活動に取り組んできた。今後も全体の計画の中において今年度の反省を踏まえ、さらにいっそう地域性を大切に教育・保育活動を取り入れていく。毎月の職員会は公立保育所での行事の在り方や行事後の評価・反省を職員間での共通理解を得られるよう話し合う時間を十分に持つようにした。次年度、行事のみならず、教育保育において保護者への理解を求めるときは子どもの発達を踏まえ、幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿の大切さなどを伝えていくことにより教育保育への理解を得られるのではと職員間で共通理解をしている。
	(2)指導計画は、乳幼児の心身の発達を踏まえ、入園から修了までの長期的な視野を持って充実した生活が展開できるように配慮し作成されているか			○		
	(3)子どもの生活が豊かになるよう行事を精選し、子どもの発達を踏まえて、その内容や実施の仕方について見直しを行っているか		○			
子どもの発達援助	(1)子ども一人一人の健康状態や発育・発達の状態を把握し、職員間にて共有されているか		○			週3回の朝礼での看護師による子どもの健康状態の報告や感染症についての情報共有、栄養士よりアレルギー食の対応など職員間にて共有されていた。また、栄養士・調理師と保育教諭が連携を取り合い、子どもたちのために食育活動がなされていた。また、地域の方の協力もあり、お茶摘み体験からお茶づくり、味噌づくり体験、うどん作り、焼き芋会、干し柿づくり、おもちゃつきと様々な体験をすることができた。また、栽培に関しても地域の方のおかげでいろいろな経験ができた。次年度はランチホールができるため、給食形態が全く変わるのでよりいっそう給食室との連携を密にして食育活動を進めていく。子どもの主体的な活動を促す環境の工夫が大切。保育教諭主導になりがち。次年度は、新しい環境となり、良い機会でもある。遊びを通して学ぶためには、子どもの主体性が大前提なので園ならではの環境を工夫していく。子どもは、自分を認め、愛し、守ってくれる大人を信頼する。このような安定した気持ちが子どもの発達を支えていくことを理解し教育保育に取り組んでいく。
	(2)子どもが安定感をもって過ごし、自分の気持ちを安心して表すことができるよう留意しているか			○		
	(3)子どもに相応しい食生活が展開されるように、食事について見直しや改善を行っているか		○			
	(4)子どもが食事を楽しむことができる工夫をしているか		○			
	(5)子どもが主体的に活動できるような、人的・物的環境が整備されているか			○		
	(6)子ども一人一人を受容し、理解を深めて働きかけや援助が行われているか			○		
	(7)健康安全や発達の確保を十分に図り、日々の環境を整えているか		○			
	(8)子どもが自ら周囲の様々な環境と関わり、発達に必要な体験を積み重ねていけるよう努めているか		○			

項目	内容	評価				取り組み状況及び課題
		A	B	C	D	
	(9)子ども自身が自分を肯定する気持ちを育てていくよう、継続的な信頼関係が築かれているか		○			<p>民営化初年度のため、初めなかなか信頼関係が築けず悩む職員もいたが一人一人丁寧なかかわりや肯定感が持てるような声かけ、援助を心がけるようにしていった。一人の職員が悩んでいるとき皆で考えられるような体制をとりながら信頼関係の構築に努めていった。保護者に対しても丁寧な対応を心がけるうちに次第に信頼していただけるようになってきた。保護者にとって困り感のあるお子さんに対しては、保護者との面談や関係機関へとつないだりしていくことにより子どもが生活しやすいようにしていく。健やか対象のお子さんや保護者に対しても公立より引き継いだことを念頭に置き丁寧に対応してきた。小学校との連携においては、1年目でどのように対応していくかと試行錯誤だったが園長が学校評議員となり学校とつながりやすかった。次年度はもっと計画的に進めていきたい。</p>
	(10)保護者の生活形態を反映した子どもの在園時間の長短、入園時期や登園日数の違いを踏まえ、子ども一人一人の状況に応じた工夫が行われているか		○			
	(11)障がいのある子どもが安心して生活できる保育環境が整備され、教育保育の内容や方法に配慮されているか		○			
	(12)小学校との連携や就学を見通した計画に基づいて、教育保育の内容や方法、保護者とのかかわりに配慮されているか			○		
保護者に対する支援	(1)子どもの発達や教育保育などについて、懇談会などの話し合いの場に加えて、保護者と共通の理解を得るための機会を設けているか		○			<p>保護者とのコミュニケーションを大切に信頼関係を築く努力をしてきた。保護者からの依頼があるときはすぐに対応し個別に面談の機会など設けている。保育参加や懇談会・講演会などを通して中海こども園の教育保育について伝える努力をしている。玄関にドキュメンテーション形式で教育保育の可視化を試みているが、写真のみが多く、もう少し自分たちの意図が伝わるような内容となるよう工夫が必要である。子育て支援室は、部屋がない中、工夫をして週3回開いているが校下に子どもがいなくてあまり利用されないが、校外外からの利用が多少増えつつある。次年度は子育て支援室の充実を図る。</p>
	(2)虐待に対応できる園内の体制(医療機関、児童相談所など専門機関との連携)の下、不適切な療育や虐待を受けていると疑われる子どもの早期発見及び予防に努めているか		○			
	(3)地域の子育ての拠点として「こども園の開放」「相談・援助」「交流の場の提供」「情報の提供」の支援を行うよう努めているか		○			
教育保育を支える組織的基盤	(1)感染症やその他の疾病の発生予防に努め、看護師の専門性を活かした対応を図っているか		○			<p>民営化初年度で職員間で感染症の対応に違いがあった。看護師より専門性を活かし、感染症などの流行前に発生予防や発生後の対応(処理方法)など全職員に対する指導を繰り返し行ってきた。また、体調不良やアレルギー疾患を持つ子どもに対しても適切に対応し、保護者からも信頼されている。避難訓練においては、実際に水害避難の実験をすることにより職員皆で考える機会を持つことができた。水害のみならず地震、火災、不審者等の訓練もマニュアルをもとに行っている。</p> <p>園内研修で外部の講師を2回呼び勉強会を行った。新園舎に向けての環境に関することや中海こども園ならではの特色を持つことなどいろいろ考えさせられる提案を受け、次年度に向けての課題が見えてきた。事業計画は年度初めに職員への周知を図っていたがあまり意識されていなかった。周知の方法を検討して取り組んでいく。</p> <p>職員一人一人が年に3回の自己評価を行っている。職員自身の振り返りと園の在り方についての確認を行い、課題をみつけ、課題に対し、今後どのように取り組んでいくか話し合いの場を持ち、共通理解をしていくことが職員の資質と専門性の向上につながっていく。</p>
	(2)体調不良、アレルギー疾患等をもつ子どもに対し、適切な対応が行われているか		○			
	(3)避難訓練・安全点検・不審者侵入防止訓練等、子どもの安全確保のための適切な対応が行われているか		○			
	(4)地震などの自然災害に対する防災対策は行われているか		○			
	(5)施設長がリーダーシップを発揮し、職員が教育保育の内容の充実と質の向上が図れるよう努めているか		○			
	(6)研修等、教育保育の質の向上を図るべく、自己研鑽への取り組みを積極的に行っているか		○			
	(7)事業計画が職員に周知されているか			○		
	(8)事業計画が利用者に周知されているか			○		
	(9)守秘義務の遵守が全職員に周知され、守られているか			○		
	(10)個人情報適切に取り扱うとともに、保護者の苦情に対し、早期解決を図るよう努めているか			○		
	(11)苦情解決の仕組みが確立され、保護者等に十分に周知・機能しているか			○		
	(12)保護者が相談や意見を述べやすい環境を整備しているか			○		
	(13)保育教諭等が主体的に自己評価に取り組み、教育保育の改善が図られているか			○		
	(14)評価結果に基づき組織として取り組むべき課題を明確にし、改善策・改善実施計画を立て実施しているか			○		

施設関係者評価

- ・民営化1年目に向け、B・Cの評価が見られが来年度に向けいいです。
- ・信頼関係を持つとする(保護者との)努力が感じられ意気込みが伝わって来ます。
- ・2年目に向け少しづつスキルアップできますように。
- ・保護者からの意見が出ていて来年度の参考になると思います(本音が)。
- ・人間関係も良く、運動会、発表会は公立職員ともよく協力しあたたかい感じがしました。
- ・1年目で行事等に頑張りがみえる。地域の期待もあると思うので、どう応えていくか、ということは園としての課題である。
- ・2年目ということでプラス面を出さなければいけないが、行事に追われることなく伝えたい、経験させたい行事を精選していくことがある。
- ・意見に対して、できるような期待をさせてしまう回答はなるべくさげたい。
- ・夏祭りのように決断すべきは、2年目で決めたい。
- ・事務室は温かく、職員もほっこりとした人柄がみられ心地よい。